

実践型食育活動による京の食文化伝承

- 平成23年3月に第2次京都市食育推進計画を公表し、「いきいき元気・健康長寿の京都」の実現を目指し、『誕生前から始める京都の生涯食育～感謝の気持ちで「いただきます。」～』を基本理念に取り組みを推進している。そこで、京の食文化に関する食育総合展示会や体系的に食農体験を指導する食育推進リーダーの育成活動を通じて、府内における日本型食生活や農林水産業等の理解促進を図り、地域の食文化を次世代へ伝えるために、事業を実施している。



【取組の内容】

○京の食文化伝承活動

京のおぼんざい、郷土食、豆腐、漬物、米・魚・京野菜・茶などの府内農林水産物をテーマとして講演及び調理体験を実施。(平成25年度は計28回、消費者や子どもとその保護者等府民746名参加)



○食育推進リーダーの育成

だしと京野菜を使った味覚に関する指導の仕方やわかりやすい食育の教え方について、農林水産業者や料理人を中心に研修会を実施。(平成25年度 2回、のべ53名)

【取組の成果】

参加者へのアンケート結果によると、食について改めて考えることや、体験することでより興味をもつようになったことがうかがえる。また、栄養バランスのとれた食事の実践度のアンケート結果では、「できている・概ねできている人」の割合が70.9%となっており、普及啓発の取組の成果と考えている。

